



Xserve

ユーザーガイド

Xserve のソフトウェア設定と問題解決に関する
情報について書かれています

🍏 Apple Inc.

© 2009 Apple Inc. All rights reserved.

著作権法に基づき、本書の全部あるいは一部を、Apple Inc. から書面による事前の承諾を得ることなく複写複製（コピー）することを禁じます。Apple Inc. はお客様に対し、同梱のソフトウェア使用許諾契約書に基づき、本ソフトウェアについての権利を許諾いたします。

Apple ロゴは、米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。キーボードから入力可能な Apple ロゴについても、これを Apple Inc. からの書面による事前の承諾なしに商業的な目的で使用する、連邦および州の商標法および不正競争防止法違反となる場合があります。

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。

Apple
1 Infinite Loop
Cupertino, CA 95014-2084
U.S.A.
www.apple.com

アップルジャパン株式会社
〒163-1480 東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号
東京オペラシティタワー
www.apple.com/jp

Apple、Apple ロゴ、FireWire、Mac、Macintosh、Mac OS、および Xserve は、米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Apple Remote Desktop、Finder、および FireWire ロゴは、Apple Inc. の商標です。

Intel、Intel Core、および Xeon は、米国その他の国における Intel Corp. の商標です。

本製品には、カリフォルニア大学バークレー校、FreeBSD, Inc.、NetBSD Foundation, Inc.、およびその貢献者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本書に記載のその他の社名、商品名は、各社の商標である場合があります。本書に記載の他社商品名は参考を目的としたものであり、それらの製品の使用を強制あるいは推奨するものではありません。また、Apple Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

J019-1445/2009-02-01

目次

5	序章：このガイドについて
5	Mac OS X Server を操作する
5	ソリッド・ステート・ドライブが搭載されている場合
6	Xserve RAID カードが装備されている場合
6	さらに詳しく知りたいときは
7	第 1 章：Xserve の外観
8	Xserve の外観—前面パネル
10	Xserve の外観—背面パネル
12	第 2 章：Xserve を起動する
12	はじめて Xserve の電源を入れる
12	サーバソフトウェアを設定する
13	LOM ポートを構成する
13	ソフトウェアのローカル設定とリモート設定
13	リモート設定のシリアル番号
14	複数の Xserve を設定する
14	Xserve を起動する
14	リモート起動
14	前面パネルから起動方法を選択する
15	Xserve のシステムを終了する
15	Xserve のシステムを終了する前に
15	キーボードとディスプレイを使って Xserve のシステムを終了する
15	リモートから Xserve のシステムを終了する
15	前面パネルから強制的にシステムを終了する
16	第 3 章：Xserve を監視する
16	Mac OS X Server サービスの状態を確認する
16	RAID カードのバッテリーの状態を確認する
16	ローカル監視とリモート監視
17	ラック内で Xserve を識別する
17	Xserve のステータスランプの意味を解釈する
17	Xserve の全体的な状態
18	システムインジケータ

18	プロセッサの利用状況
19	ドライブモジュールの状態
19	Ethernet リンクの状態
20	電源装置の状態
20	ハードウェアの詳細情報を参照する
21	シリアルポートを使用する
21	ターミナル・エミュレーション・ソフトウェアについて
21	シリアルポートに接続する
21	コマンドラインツールについて
21	Xserve への物理的なアクセスを制御する
21	キーボードとマウスを制御する
21	リモートから Xserve を監視する
22	「サーバモニタ」を使用する
22	Xserve に接続する
22	コマンドラインを使用する
23	第 4 章：Xserve のソフトウェアをアップデートする／インストールする
23	始める前に
23	ソフトウェア・アップデートとインストールの概要
24	最適な方法を選択する
24	最新のソフトウェア・アップデートを入手する
25	サーバソフトウェアを再インストールする
25	キーボード、ディスプレイ、および Mac OS X Server のインストール DVD を使用する
26	NetBoot サーバを使用して、ネットワークを介してインストールする
26	「Apple Remote Desktop」(ARD) またはほかの VNC ソフトウェアを使用する
26	画面共有を使用する
26	別の Xserve を使用して、交換したドライブモジュールにインストールする
27	シリアルポートを介してコマンドを使用して、光学式ドライブからインストールする
29	付録：トラブルシューティング
29	解決策が見つからない場合
29	問題と解決策
31	「Apple Xserve Diagnostics」ソフトウェアを使用する
32	通信情報機器に関する規制

このガイドについて

このユーザーガイドでは、Xserve を起動およびシステム終了する方法、サーバソフトウェアをインストールおよび設定する方法、Xserve の状態を監視する方法、および問題を解決する方法について説明します。

このガイドには、Xserve のインストール後に役立つ情報が記載されています：

- Xserve の機能、コントロール、および部品（第 1 章）
- はじめて起動したときに Xserve を設定するためのヒント、および通常の起動とシステム終了の手順（第 2 章）
- Xserve の状態を確認する方法（第 3 章）
- サーバソフトウェアをアップデートまたはインストールする方法（第 4 章）
- Xserve を操作しているときに発生する可能性のある一般的な問題、および診断ソフトウェアについての情報（付録）

Mac OS X Server を操作する

Xserve のインストールが完了したら、Mac OS X Server が提供するすべてのサービスを管理する準備ができたことになります。Mac OS X Server の設定および使用方法については、「Admin Tools」ディスクに収録されている「Mac OS X Server : お使いになる前に」を参照してください。サーバソフトウェアへの理解を深めるには、www.apple.com/jp/server/resources にあるマニュアルを参照してください。

ソリッド・ステート・ドライブが搭載されている場合

ソリッド・ステート・ドライブが搭載されている Xserve を購入した場合、Mac OS X Server はすでにドライブにインストールされており、そのドライブが起動ディスクとして設定されています。

Xserve RAID カードが装備されている場合

Xserve RAID カードが取り付けられていて、ソリッド・ステート・ドライブが搭載されていない

Xserve を購入した場合、起動ディスクはベイ 1 にあるドライブモジュールの拡張 JBOD RAID セットのボリュームになります。ソリッド・ステート・ドライブも搭載されている場合は、そのソリッド・ステート・ドライブが起動ディスクとして設定されており、3 基のドライブモジュールすべてを RAID ボリュームの作成に使用できます。RAID ボリュームの作成方法または RAID 構成の変更方法について、および RAID カードのバッテリーに関する重要な情報については、「**RAID ユーティリティユーザズガイド**」(www.apple.com/jp/xserve/resources.html から入手できます) を参照してください。

さらに詳しく知りたいときは

Xserve を開いて部品を交換する方法については、Xserve に付属の印刷版「**Xserve 設置ガイド**」を参照してください。www.apple.com/jp/xserve/resources.html では、PDF 版のガイドも入手できます。

LOM (Lights-out Management) とサーバのリモート管理について詳しくは、「サーバモニタ」のヘルプを参照してください。

アップルの Xserve サービス & サポート Web サイトでは、記事、ディスカッション、ダウンロード可能なソフトウェア・アップデートを含めて、詳細な製品情報と技術リソースを提供しています。

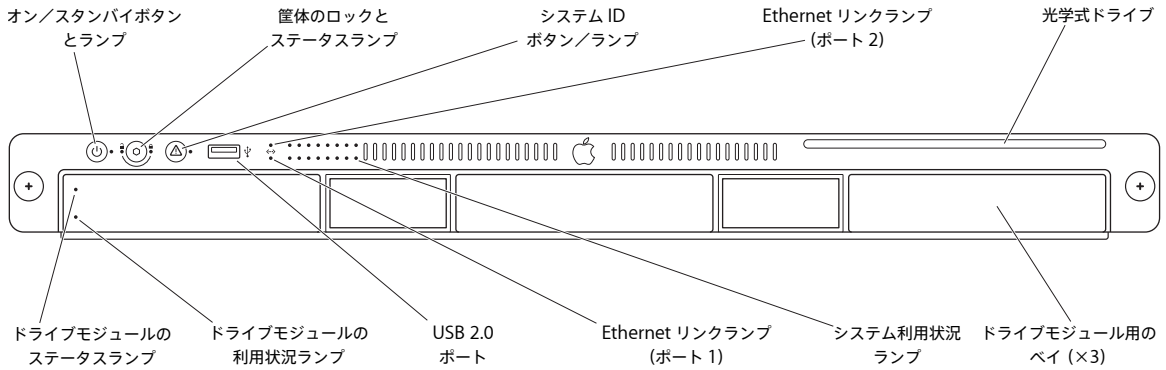
www.apple.com/jp/support/xserve を参照してください。

この章の図を使って、Xserve の基本的なコントロール、機能、および部品についての理解を深めてください。

以降のページの図は、Xserve のコントロール、インジケータ、コネクタ、およびその他の機能を示しています。

参考：ご購入の構成によっては、Xserve の一部の部品がここで示す図とは若干異なることがあります。

Xserve の外観—前面パネル





オン/スタンバイボタンとランプ

Xserve の電源を入れるときに押します。ほかのシステム終了の方法がすべて失敗した場合は、約 5 秒間押し続けると Xserve を強制的にシステム終了することができます。Xserve の電源が入っているときはランプが明るい白色に点灯し、Xserve がスリープモードになっているときはランプが点滅します。



筐体のロックとステータスランプ

ロックをすることにより、Xserve のカバーとドライブモジュールを保護します。Xserve に付属の筐体キーを使ってロックおよびロック解除できます。

「システム環境設定」の「セキュリティ」パネルにあるオプションで、筐体がロックされているときは、接続されているキーボードとマウスを使用できないようにすることができます。このオプションが有効になっていて、筐体がロックされている（ランプが点灯している）とき、Xserve はキーボード、マウス、またはホットプラグ可能なストレージ装置を認識しません。これらの装置を使用するときは、ロックを解除してください。



システム ID ボタンとランプ

問題が発生すると、黄色いシステム ID ランプが点滅します。また、ボタンを押して手動で点灯と消灯を切り替えたり、「サーバモニタ」を使ってリモートから点灯させたりすることもできます。このインジケータは、複数の Xserve が設置されているラックで特定の装置を探す場合に便利です。システム ID ボタンとランプは、Xserve 背面にもあります。

システム ID ボタンを使うと、前面パネルの起動オプションを使用して Xserve を起動する代わりにの方法を選択することもできます。14 ページの「前面パネルから起動方法を選択する」を参照してください。



Ethernet リンクランプ

2 つのランプは、Xserve が Ethernet ネットワークに接続されているかどうかを示します。各ランプは、2 つの内蔵 Ethernet ポートのそれぞれに対応しています。下のランプがポート 1 用で、上のランプがポート 2 用です。

光学式ドライブ

このスロットローディング方式の光学式ドライブを使って、ソフトウェアを Xserve にインストールできます。

ドライブモジュールとランプ

Xserve には、最大 3 台の SATA (Serial ATA) または SAS (Serial Attached SCSI) ドライブモジュールを取り付けることができます。これらのモジュールは、Xserve が動作しているときでも取り外しと取り付けができます。各ドライブモジュールには、稼働状況とディスクの利用状況を示すランプがあります。

システム利用状況ランプ

これらのランプは、プロセッサの利用状況レベルを示します。

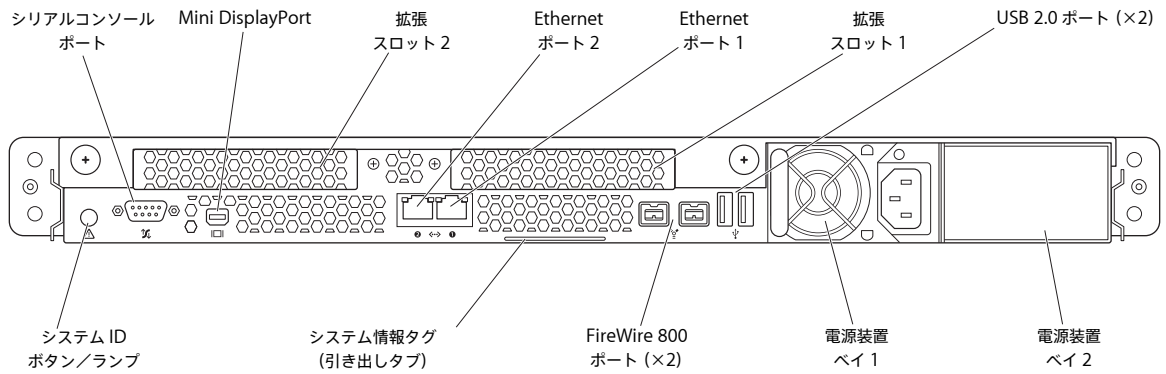
これらのランプを使うと、前面パネルの起動オプションを使用して Xserve を起動する代わりにの方法を選択することもできます。14 ページの「前面パネルから起動方法を選択する」を参照してください。



USB 2.0 ポート

Xserve の前面での USB 2.0 接続のためのポートです。背面パネルにも 2 つの USB 2.0 ポートがあります。これらのポートに接続されている装置を認識するには、Xserve の筐体のロックを解除する必要があります。

Xserve の外観—背面パネル





シリアルコンソールポート

シリアル装置またはシリアルポートを持つコンピュータを接続します。このポートは RS-232 の接続をサポートします。21 ページの「シリアルポートを使用する」を参照してください。



Mini DisplayPort

このポートを使って、ディスプレイを Xserve に接続することができます。DVI ディスプレイまたは VGA ディスプレイをお持ちの場合は、別途アダプタケーブルを入手できます。

拡張スロット

Xserve には、PCI Express (PCI-E) 拡張カードを 2 枚取り付けることができます。スロット 1 は 6.6 インチのカードに対応しています。スロット 2 は 9 インチのカードに対応しています。カードの取り付けについては、Xserve に付属の印刷版「**Xserve 設置ガイド**」を参照してください。



ギガビット Ethernet ポート

2 つの内蔵 Ethernet ポートを使って、Xserve を高速 Ethernet ネットワークに接続します。Ethernet ポートは、ネットワークがサポートする転送速度に自動的に調整します。各ポートの左上隅にある緑色のランプは、ポートが稼働している Ethernet ネットワークに接続されているかどうかを示します。右側の青色のランプは、利用状況を示します。

Ethernet ケーブルは常に、最初に右側のポート（ポート 1）に接続してください。



USB 2.0 ポート

キーボードやマウスなどの USB 装置を接続します。USB 2.0 ポートは前面パネルにもあります。これらのポートに接続されている装置を認識するには、Xserve の筐体のロックを解除する必要があります。



電源装置と電源装置ベイ

Xserve 用のリムーバブル電源装置。ここに電源コードを接続します。冗長性を高めるために 2 台の 750 ワット電源装置を取り付けることができます。一方の装置に障害が発生したり、取り外したりした場合、もう一方の装置が Xserve の電源供給を完全に引き継ぐことができます。



FireWire 800 ポート

Xserve に FireWire 装置を接続します。これらのポートに接続されている装置を認識するには、Xserve の筐体のロックを解除する必要があります。

システム情報タグ

Xserve のシリアル番号と内蔵 Ethernet ポートのハードウェア (MAC) アドレスがこのプルアウトタブにプリントされています。サーバソフトウェアをリモートからインストールして設定するときは、このシリアル番号を使用する必要があります。



システム ID ボタンとランプ

問題が発生すると、黄色いシステム ID ランプが点滅します。また、ボタンを押して手動で点灯させたり、「サーバモニタ」を使ってリモートから点灯させたりすることもできます。このインジケータは、複数の Xserve が設置されているラックで特定の装置を探す場合に便利です。システム ID ボタンとランプは、前面パネルにもあります。

この章では、Xserve を起動およびシステム終了する方法について説明します。また、Xserve をはじめて起動するときの Mac OS X Server の設定に関する情報も記載しています。

はじめて Xserve の電源を入れる

はじめて Xserve の電源を入れると、Mac OS X Server の「設定アシスタント」から、起動およびネットワークへの接続に必要ないくつかの基本情報が要求されます。

サーバソフトウェアを設定する

はじめて Xserve の電源を入れるときは、少なくとも以下の情報を用意してください：

- サーバ管理者のアカウント名とパスワード
- Mac OS X Server ソフトウェアのシリアル番号
- IP アドレス、サブネットマスク、DNS サーバなどの基本的なネットワーク設定
- LOM (Lights-out Management) ポート用のユーザ名、パスワード、およびネットワーク設定
- Xserve でオープン・ディレクトリ・ドメインを管理するか、既存のドメインに参加させるか、またはローカルディレクトリを使ってスタンドアロンで実行するか

「サーバアシスタント」を使って Xserve を完全に設定するために必要な情報の一覧については、**Mac OS X Server のインストール DVD**（またはサーバマニュアルの Web サイト www.apple.com/jp/server/resources）にある「**Mac OS X Server : インストールと設定のワークシート**」を参照してください。

標準サーバまたはワークグループサーバの設定については、「**Admin Tools**」ディスクに収録されている「**Mac OS X Server: お使いになる前に**」を参照してください。リモートからのインストールと設定、自動設定など、詳細サーバの設定については、「**Mac OS X Server : サーバ管理**」(www.apple.com/jp/server/resources) を参照してください。

LOM ポートを構成する

「サーバモニタ」アプリケーションを使って Xserve を起動、システム終了、または監視するときは、Xserve 内の LOM プロセッサと通信を行います。Xserve にある 2 つの内蔵 Ethernet コネクタのいずれも、LOM (Lights-out Management) ポートおよびサーバ Ethernet ポートの両方として機能します。LOM (Lights-out Management) ポートには、専用の管理者ユーザ名、パスワード、およびネットワーク設定を使用します。次の方法で、これらの設定を変更できます：

- Mac OS X Server の「設定アシスタント」のネットワークパネルを使用する
- 「サーバモニタ」で、「サーバ」>「ローカルコンピュータを構成」と選択する
- 「ターミナル」で `ipmitool` コマンドラインツールを使用する

「サーバモニタ」を使って Xserve に接続する場合は、LOM (Lights-out Management) ポートの IP アドレスとユーザアカウントを指定します。

ソフトウェアのローカル設定とリモート設定

ディスプレイとキーボードを Xserve に接続すれば、それらを使ってサーバソフトウェアの設定プロセスをローカルで完了することができます。

ディスプレイやキーボードを使わずに Xserve を設定するには、次のいずれかの方法を使って Xserve に接続してリモートから設定できます。

設定方法	入手方法	参照情報
画面共有	Mac OS X および Mac OS X Server バージョン 10.5 以降に付属	26 ページの「画面共有を使用する」
サーバアシスタント	Mac OS X Server バージョン 10.5 以降に付属	「Admin Tools」ディスクに収録されている「Mac OS X Server : お使いになる前に」、または「Mac OS X Server : サーバ管理」(www.apple.com/jp/server/resources)
Apple Remote Desktop	別売	「Mac OS X Server : サーバ管理」(www.apple.com/jp/server/resources)
VNC ビューアソフトウェア	別売	「Mac OS X Server : サーバ管理」(www.apple.com/jp/server/resources)
Xserve のシリアルポートへの接続	Xserve に付属	27 ページの「シリアルポートを介してコマンドを使用して、光学式ドライブからインストールする」

リモート設定のシリアル番号

「サーバアシスタント」を使って Xserve をリモートから設定するには、Xserve ハードウェアのシリアル番号の最初の 8 文字が必要になります。

Xserve のシリアル番号を見つけるには：

- 小さいタブを引いて、背面パネルからシステム情報タグを引き出します。

複数の Xserve を設定する

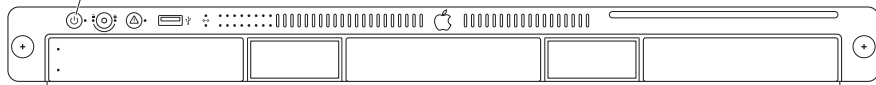
複数の Xserve システムを設定する場合は、複数のサーバを設定する作業を簡単にする Mac OS X Server の設定方法を覚える必要があります。「Mac OS X Server : サーバ管理」(www.apple.com/jp/server/resources) で、サーバの初期設定に関する章を参照してください。

Xserve を起動する

Xserve を起動するには：

- 前面パネルの左端にあるオン／スタンバイボタンを押します。

オン／スタンバイボタンとランプ



パワーインジケータランプが点灯し、Xserve が起動します。前面パネルのステータスランプは、ネットワーク、プロセッサ、およびドライブモジュールの利用状況を示します。今回はじめて Xserve の電源を入れた場合は、必ず 12 ページの「はじめて Xserve の電源を入れる」を参照してください。

リモート起動

LOM (Lights-out Management) ポートの構成後は、「サーバモニタ」アプリケーションを使って、離れた場所にある Xserve を起動することができます。詳しくは、「サーバモニタ」のヘルプを参照してください。

前面パネルから起動方法を選択する

Xserve の前面パネルのコントロールを使って、特殊な状況で使用するこのできる代わりの起動方法を選択できます。

前面パネルから起動方法を選択するには：

- 1 電源を切った状態で、システム ID ボタンを押したまま、オン／スタンバイボタンを押します。
- 2 上の列の青いランプが順番に点滅するまで、システム ID ボタンを押したままにします。
- 3 システム ID ボタンを離してからもう一度押す操作を繰り返し、選択した起動方法に対応するランプを点灯させます：

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ●

光学式ドライブの
ディスクから起動する

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ●

NetBoot サーバから
起動する

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ● ○ ○

内部ドライブモジュールで
最初に使用可能な
システムから起動する

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ● ○ ○ ○

現在の起動ディスクを
スキップして、ほかの使用
可能なシステムから起動する

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ● ○ ○ ○ ○

ターゲット・ディスク・
モードで起動する

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ● ○ ○ ○ ○ ○

NVRAM をリセットして最初に
起動可能なドライブ
モジュールから起動する

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○

未使用

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

NetBoot サーバから
診断モードで起動する

- 4 選択したら、上の列のランプがすべて点灯するまでシステム ID ボタンを押したままにしてから離します。
選択した方法を使って Xserve が起動します。

Xserve のシステムを終了する

Xserve のシステムを終了する方法はいくつかあります。

Xserve のシステムを終了する前に

Mac OS X Server が提供するサービスを Xserve で管理している場合は、「サーバ管理」または「サーバ環境設定」を開いてサービスを停止します。これらのアプリケーションは、ローカルの Xserve 上で開くことも、別のコンピュータからリモートで使用することもできます。

キーボードとディスプレイを使って Xserve のシステムを終了する

キーボードとマウスを使って Xserve のシステムを終了するには：

- 「Finder」で、アップル (🍏) メニュー > 「システム終了」と選択します。

リモートから Xserve のシステムを終了する

キーボードやディスプレイを接続せずに Xserve のシステムを終了したり、離れた場所にある Xserve のシステムを終了したりするには、「サーバモニタ」アプリケーションまたはコマンドラインを使用することができます。

「サーバモニタ」を使って Xserve のシステムを終了するには：

- 「サーバモニタ」アプリケーションを開いて、リストから Xserve を選択し、「システム終了」をクリックします。

コマンドラインから Xserve のシステムを終了するには：

- 「ターミナル」を開いて、SSH を使って Xserve にログインし、次のシステム終了コマンドを入力します：

```
$ ssh -l user server
$ sudo shutdown -h now
```

ここで、**user** は Xserve の管理者アカウントの名前、**server** は Xserve の DNS 名または IP アドレスです。

shutdown コマンドおよび shutdown のその他のコマンドラインオプションについては、「ターミナル」で `man shutdown` と入力するか、「Mac OS X Server : Command-Line Administration」(www.apple.com/jp/server/resources) を参照してください。

前面パネルから強制的にシステムを終了する

通常の方法を使って Xserve のシステムを終了できない場合は、前面パネルのオン/スタンバイボタンをパワーランプが消えるまで (約 5 秒間) 押し続け、強制的にシステムを終了することができます。

Xserve の状態は、近くにいても離れた場所にも確認することができます。

この章では、Xserve が正常に稼動しているかどうかを確認する方法、Xserve で問題が検出された場合に詳細情報を入手する方法、ハードウェア・ステータス・ランプの意味を解釈する方法、および内部のさまざまな温度や電源電圧などの状態を監視する方法について説明します。

Mac OS X Server サービスの状態を確認する

この章では、Xserve のハードウェアの状態を監視する方法について説明します。ソフトウェアの状態、および「サーバ管理」アプリケーションを使って、Xserve 上で Mac OS X Server が管理する個々のサービスの状態を確認する方法については、Mac OS X Server のマニュアル一式 (www.apple.com/jp/server/resources) を参照してください。

RAID カードのバッテリーの状態を確認する

Xserve RAID カードが装備されている場合は、「RAID ユーティリティ」を使って、書き込みキャッシュのバックアップバッテリーの状態を確認できます。バッテリーが完全に充電されていない場合は、通常の充電中または調整中である可能性があります。バッテリーについては、「**RAID ユーティリティユーザーズガイド**」 (www.apple.com/jp/xserve/resources.html)、または「RAID ユーティリティ」のヘルプを参照してください。

ローカル監視とリモート監視

Xserve の近くにいる場合は、前面パネルのステータスランプを見ると、Xserve で問題が検出されたかどうかすぐに分かります。17 ページの「Xserve のステータスランプの意味を解釈する」を参照してください。

ディスプレイとキーボードを接続すれば、「サーバモニタ」アプリケーションを開いて、問題のある部品の状態に関する詳細情報を表示することができます。22 ページの「「サーバモニタ」を使用する」を参照してください。

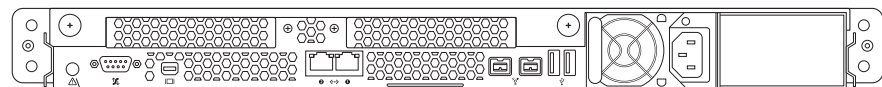
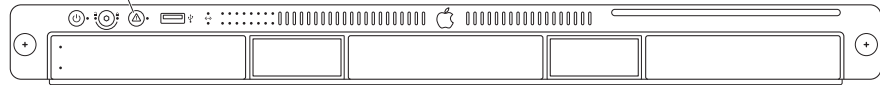
管理コンソールを Xserve のシリアルポートに接続して、コマンドラインツールを使って Xserve を管理することもできます。21 ページの「シリアルポートを使用する」を参照してください。

サーバラックから離れた場所にいる場合は、「Admin Tools」ディスクを使ってサーバ管理ツールを Mac OS X コンピュータにインストールして、そのコンピュータを**管理用コンピュータ**にできます。その後、管理用コンピュータで「サーバモニタ」を使って Xserve の状態を確認するか、Xserve でさまざまな状態のうちのいずれかが検出された場合に関係者にメール通知を送信することができます。22 ページの「「サーバモニタ」を使用する」を参照してください。

ラック内で Xserve を識別する

ラック内に複数の Xserve システムがある場合は、システム ID ランプを使って特定の Xserve にフラグを設定し、識別することができます。このランプは、ラックの反対側に回り込んだときに正しいサーバに戻るのに役立ちます。また、「サーバモニタ」アプリケーションからシステム ID ランプを点灯させて、ラック内の Xserve を見つけることもできます。

システム ID ボタン/ランプ (前面)



システム ID ボタン/ランプ (背面)

Xserve でシステム ID ランプの点灯と消灯を切り替えるには：

- 前面または背面パネルのシステム ID ボタンを押します。

リモートからシステム ID ランプを点灯させるには：

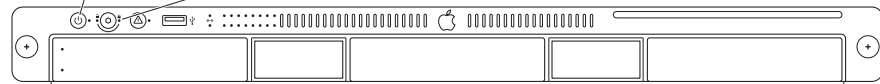
- 「サーバモニタ」を開いて、リストから Xserve を選択し、「システム ID ランプ」のボタンをクリックします。

Xserve のステータスランプの意味を解釈する

Xserve のインジケータランプを見るだけで、Xserve の全体的な状態や、ドライブモジュール、ネットワークインターフェイス、電源装置などの部品の状態を確認することができます。

Xserve の全体的な状態

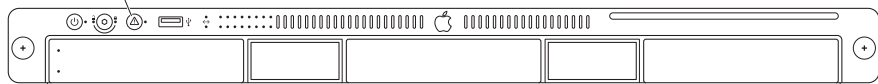
オン/スタンバイボタンとランプ 筐体のロックランプ



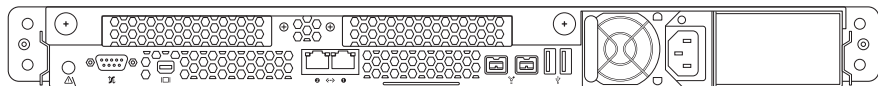
インジケータランプ	色	意味
オン/スタンバイ (前面パネル)	白	Xserve の電源が入っています。
	白が脈打つように点滅	Xserve はスリープ状態です。
筐体のロック	黄	ロックがかけられています。 筐体がロックされている (ランプが点灯している) 場合、セキュリティの環境設定によっては、Xserve がキーボード、マウス、またはホットプラグ可能なストレージ装置を認識しないことがあります。詳しくは、21 ページの「キーボードとマウスを制御する」を参照してください。

システムインジケータ

システム ID ボタン/ランプ (前面)



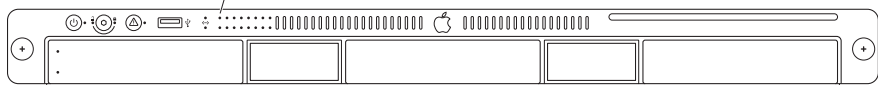
システム ID ボタン/ランプ (背面)



インジケータランプ	色	意味
システムインジケータ	黄が点滅と消灯を繰り返す	次のいずれか： <ul style="list-style-type: none"> • Xserve がアラーム状態を検出しました。「サーバモニタ」を開いて、情報を確認してください。 • ID ランプは、「サーバモニタ」を使って手動で点灯させた状態です。
	黄が点滅	ID ランプは、前面または背面のシステム ID ボタンを押して、手動で点灯させた状態です。

プロセッサの利用状況

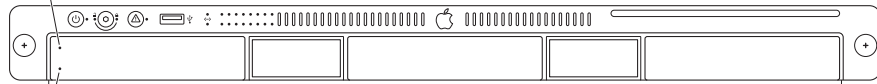
システム利用状況ランプ



インジケータランプ	色	意味
システム利用状況	青が断続的に点滅	プロセッサの利用状況と負荷。

ドライブモジュールの状態

ドライブモジュールのステータスランプ (緑)

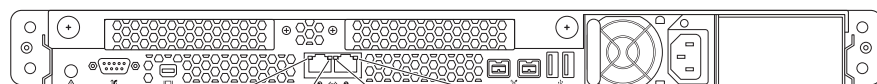
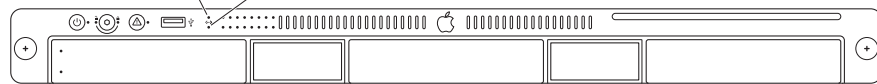


ドライブモジュールの利用状況ランプ (青)

インジケータランプ	色	意味
ドライブモジュールの状態 (上の LED)	緑	ドライブの電源は入になっており、動作しています。
	黄	ドライブは動作していますが、警告状態を検出しました。
	赤	ドライブに障害が発生しました。
ドライブモジュールの利用状況 (下の LED)	消灯	Xserve は現在ドライブの読み書きを行っていません。
	青が断続的に点滅	Xserve はドライブの読み書きを行っています。このランプが点滅している場合は、ドライブを取り外さないでください。

Ethernet リンクの状態

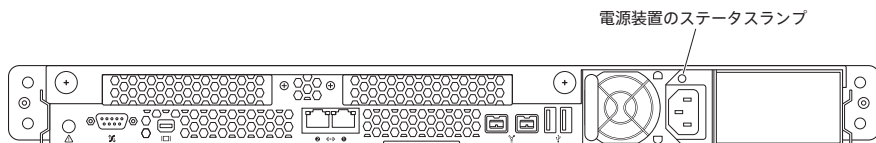
Ethernet リンクランプ (ポート 2) Ethernet リンクランプ (ポート 1)



ポート 2 ステータスランプ (緑) ポート 2 利用状況ランプ (青) ポート 1 ステータスランプ (緑) ポート 1 利用状況ランプ (青)

インジケータランプ	色	意味
Ethernet リンクの状態 (前面パネル)	緑	ケーブルが接続されており、リンク状態は良好です (Xserve は送受信を行うことができます)。下のランプがポート 1 用、上のランプがポート 2 用です。
Ethernet リンクの状態 (背面コネクタ)	緑	リンク状態は良好です (Xserve は送受信を行うことができます)。
Ethernet の利用状況 (背面コネクタ)	青が断続的に点滅	リンクが稼動しています。このランプは、データの転送中に点灯します。

電源装置の状態



インジケータランプ	色	意味
電源装置 (背面パネルの 電源装置)	緑	AC 電源が利用可能で、装置は Xserve の部品に DC 電力を供給しています。Xserve の電源が入っています。
	緑が点滅	AC 電源が利用可能ですが、この装置から Xserve の部品への電力はスタンバイ状態です (通常、Xserve の電源が切になっているためです)。
	赤	電源コードからこの装置への AC 電力が利用できないか、またはこの電源装置に障害が発生しています。もう 1 つの電源装置が Xserve に電力を供給しています。

ハードウェアの詳細情報を参照する

「システムプロファイラ」を使って、Xserve ハードウェア (およびソフトウェア) の詳細な設定情報を参照できます。

「Finder」からシステムの詳細を表示するには：

- アップル (🍏) メニュー> 「この Mac について」と選択し、「詳しい情報」をクリックします。

コマンドラインからシステムの詳細を表示するには：

- 「ターミナル」を開いて、`system_profiler` コマンドを入力します。コマンドとそのオプションについては、`man system_profiler` と入力して情報を参照してください。

シリアルポートを使用する

管理コンソールまたはターミナル・エミュレーション・ソフトウェアを実行するコンピュータを Xserve のシリアルポートに接続して、コマンドラインツールを使ってシステムを監視することができます。

ターミナル・エミュレーション・ソフトウェアについて

「ターミナル」で `screen` コマンドを使用するか、別のコンピュータで動作する ZTerm などのターミナル・エミュレーション・アプリケーションを使って、Xserve のシリアルポートを介して通信することができます。

コンソールまたはターミナル・エミュレーション・ソフトウェアは、次の条件で動作するように構成します：

- 57.6 KB / 秒で、パリティなしの 8 データビットを使用

シリアルポートに接続する

シリアル USB アダプタまたはシリアル・ポート・コンセントレータ付きの 9 ピンのシリアル・ヌル・モデム・ケーブルを使って、Macintosh コンピュータをシリアルポートに接続することができます。

シリアル・ポート・コネクタのピン割り当てについては、Xserve に付属の印刷版「**Xserve 設置ガイド**」で、仕様に関する付録を参照してください。

コマンドラインツールについて

コマンドラインツールを使用して Xserve の状態を確認する方法については、「**Mac OS X Server : Command-Line Administration**」(www.apple.com/jp/server/resources) を参照してください。

Xserve への物理的なアクセスを制御する

Xserve の筐体のロックを使って、次のことができます：

- ドライブモジュールを取り外せないようにする
- 上部のカバーを開けないようにする
- システムの環境設定を設定して、接続されているキーボード、マウス、またはその他の USB 装置を使用できないようにする

キーボードとマウスを制御する

接続されているキーボードとマウスを筐体のロックで使用できないようにするかどうかを選択することができます。

キーボードとマウスを使用できないようにするには：

- 「システム環境設定」を開いて、「セキュリティ」をクリックし、「Xserve エンクロージャロック使用のときマウスとキーボードを使用不可にする」チェックボックスをクリックします。

リモートから Xserve を監視する

Xserve の状態は、「サーバモニタ」アプリケーションを使って、または「ターミナル」でコマンドラインを使って、リモートコンピュータから確認することができます。

「サーバモニタ」を使用する

Xserve には、「サーバモニタ」アプリケーションが付属しています。「サーバモニタ」は「/ アプリケーション / サーバ /」にあります。「Admin Tools」ディスクにも収録されています。「サーバモニタ」を使って、次のことができます：

- Xserve とその部品の現在の状態を確認します。次のような項目があります：
 - ドライブモジュールの状態
 - 電源装置の状態とシステムの内部電圧
 - ネットワークインターフェイスの状態と利用状況レベル
 - 問題のある内部部品の温度
 - 冷却ファンの状態
- Xserve の基本情報を確認します。次のような項目があります：
 - 稼動時間
 - Xserve で実行中の Mac OS X Server のバージョン
 - 各スロットに取り付けられているメモリの容量と種類
 - 各ドライブモジュールの機種と容量
- Xserve をシステム終了、起動、または再起動します
- Xserve の Apple システム・プロフィールレポートを生成します
- Xserve の状態の変化に応じてメール通知を送信します

「サーバモニタ」は、Xserve 上、または同じネットワークに接続されている任意のコンピュータ上で実行することができます。

Xserve に接続する

Intel ベースの Xserve を「サーバモニタ」のサーバリストに追加するには、Xserve の LOM (Lights-out Management) ポートのネットワークアドレス、ユーザ名、およびパスワードを使用します。これらの設定を変更する方法については、13 ページの「LOM ポートを構成する」を参照してください。

ローカルの Xserve (「サーバモニタ」が動作している Xserve) をリストに追加するには、IP アドレス 127.0.0.1 と、ローカル管理者のユーザ名およびパスワードを使用します。

「サーバモニタ」の使いかたについては、「サーバモニタ」のヘルプを参照してください。

コマンドラインを使用する

SSH を使用してリモートの Xserve に接続する方法、およびコマンドラインツールを使用して Xserve の状態を確認する方法については、「Mac OS X Server : Command-Line Administration」(www.apple.com/jp/server/resources) を参照してください。

Xserve のソフトウェアをアップデートする／インストールする

4

Xserve のサーバソフトウェアをアップデートまたはインストールする方法はいくつかあります。

ソリッド・ステート・ドライブが搭載されていない Xserve では、ドライブベイ 1 のドライブモジュールに Mac OS X Server がインストールされています。ソリッド・ステート・ドライブが搭載されている Xserve では、そのソリッド・ステート・ドライブに Mac OS X Server がインストールされています。

始める前に

Xserve に Xserve RAID カードが装備されている場合は、Mac OS X Server をインストールする前に、「RAID ユーティリティ」アプリケーションを使って RAID ボリュームを再構成してください。次の場合があります：

- ソリッド・ステート・ドライブが搭載されていない場合は、ベイ 1 の起動ドライブが拡張 JBOD ボリュームとして設定されており、その他の 2 つのドライブモジュールは起動ボリュームの拡張やほかのボリュームの作成に使用できます。
- ソリッド・ステート・ドライブが搭載されている場合は、そのソリッド・ステート・ドライブに Mac OS X Server がインストールされているので、3 つの標準ドライブモジュールはすべて RAID ボリュームの作成に使用できます。

警告: 既存のボリュームの拡張を除いて、多くの RAID の再構成操作では、ハード・ドライブ上のデータがすべて消去されます。RAID ボリュームを設定する前に、すべての重要なデータのバックアップを作成してください。

「RAID ユーティリティ」を使って RAID ボリュームを設定および管理する方法については、www.apple.com/jp/xserve/resources.html で「RAID ユーティリティユーザズガイド」を参照してください。

ソフトウェア・アップデートとインストールの概要

サーバソフトウェアをアップデートするときは、次の方法を使用できます：

- 「システム環境設定」の「ソフトウェア・アップデート」パネル
- 「サーバ管理」の「ソフトウェア・アップデート」パネル

- softwareupdate コマンドラインツール
- アップルのダウンロード Web サイト (www.apple.com/jp/support/downloads)

サーバソフトウェアを再インストールする必要がある場合は、以下のいずれかの方法を使用できます：

- Xserve の光学式ドライブで **Mac OS X Server のインストール DVD** (Xserve に付属しています) からインストールします。
- NetBoot イメージまたは Apple Software Restore (ASR) コマンドラインツールを使って、ネットワークを介してソフトウェアをインストールします。
- 光学式ドライブから Xserve を起動し、「サーバアシスタント」、「Apple Remote Desktop」(ARD) またはほかの VNC ビューアソフトウェアを使って別のコンピュータからインストールを制御します。
- モデルおよび構成が同一の別の Xserve にドライブモジュールを移動し、そのシステムにソフトウェアをインストールしてから、ドライブモジュールを戻します。
- コンピュータを Xserve のシリアルポートに接続し、コマンドラインを使ってサーバソフトウェアをインストールします。

最適な方法を選択する

お使いのサーバ環境に最適な Mac OS X Server のインストールと設定の方法を選択するのに役立つ情報については、「Admin Tools」ディスクに収録されている「**Mac OS X Server : お使いになる前に**」、および「**Mac OS X Server : サーバ管理**」(www.apple.com/jp/server/resources) のインストールおよび設定に関するセクションを参照してください。

Xserve の光学式ドライブで **Mac OS X Server インストール DVD** からインストールする方法、および「サーバアシスタント」を使って別のコンピュータからインストールする方法については、「**Mac OS X Server : お使いになる前に**」を参照してください。いずれかの方法を使ってインストールを行う方法については、「**Mac OS X Server : サーバ管理**」を参照してください。

最新のソフトウェア・アップデートを入手する

Xserve がインターネットに接続されている場合は、アップルから最新のソフトウェア・アップデートをダウンロードしてインストールすることができます。Xserve がプライベートネットワーク上にある場合は、インターネットに接続されているコンピュータにアップデートをダウンロードしてから、そのアップデートを Xserve にコピーしてインストールすることができます。

アップデートを確認してインストールするには：

- 「システム環境設定」を開いて、「ソフトウェア・アップデート」をクリックします。

ディスプレイやキーボードがない Xserve で「サーバ管理」を使用する場合：

- 「サーバ管理」を開き、サーバを選択して「サーバアップデート」をクリックします。

ディスプレイやキーボードがない Xserve で「ターミナル」を使用する場合：

- 「ターミナル」と SSH を使って、管理用コンピュータから Xserve に接続し、softwareupdate コマンドラインツールを実行します。詳しくは、「**Mac OS X Server : Command-Line Administration**」(www.apple.com/jp/server/resources) を参照してください。「Apple Remote Desktop」(別売) も使用できます。

Xserve がインターネットまたはソフトウェア・アップデート・サーバに接続されていない場合：

- 1 インターネットに接続されているコンピュータを使って、次の URL からアップデートをダウンロードします：

www.apple.com/jp/support/downloads

- 2 Xserve にアップデートをコピーします。

サーバソフトウェアを再インストールする

以下のセクションでは、次の方法で Xserve に Mac OS X Server をインストールする方法について説明します：

- キーボード、ディスプレイ、および **Mac OS X Server のインストール DVD** を使用する
- **NetBoot** サーバを使用して、ネットワークを介してインストールする
- 「Apple Remote Desktop」(ARD) またはほかの VNC ビューアソフトウェアを使用する
- 画面共有を使用する
- 別の Xserve を使用して、交換したドライブモジュールにインストールする
- シリアルポートを介してコマンドを使用して、Xserve の光学式ドライブからインストールする

インストールが終了したら、管理用コンピュータを使って、「サーバアシスタント」を実行して Xserve を設定するか、Mac OS X Server の自動設定機能を利用することができます。

標準サーバまたはワークグループサーバの設定については、「**Admin Tools**」ディスクに収録されている「**Mac OS X Server: お使いになる前に**」を参照してください。リモートからのインストールと設定、自動設定など、詳細サーバの設定については、「**Mac OS X Server : サーバ管理**」(www.apple.com/jp/server/resources) のインストールおよび設定に関するセクションを参照してください。

キーボード、ディスプレイ、および Mac OS X Server のインストール DVD を使用する

次に、ディスプレイとキーボードが接続されている Xserve に Mac OS X Server をインストールする簡単な方法を示します。

ディスプレイ、キーボード、およびインストールディスクを使って Mac OS X Server をインストールするには：

- 1 **Mac OS X Server のインストール DVD** を Xserve の光学式ドライブに挿入し、インストールアイコンをダブルクリックします。
- 2 認証ウィンドウで、管理者のパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

Xserve がインストールディスクから再起動し、サーバの設定用アプリケーションが表示されます。

ディスプレイやキーボードのない Xserve にインストールできるように管理用コンピュータを設定して使用する方法を含め、Xserve に Mac OS X Server をインストールする方法について詳しくは、「**Mac OS X Server: サーバ管理**」(www.apple.com/jp/server/resources) を参照してください。

NetBoot サーバを使用して、ネットワークを介してインストールする

リモートコンピュータを使って、サーバソフトウェアを 1 台の Xserve にインストールしたり、複数の Xserve システムにインストールするプロセスを自動化したりすることができます。詳しくは、「Mac OS X Server : サーバ管理」および「Mac OS X Server : システムイメージおよびソフトウェア・アップデートの管理」(www.apple.com/jp/server/resources) を参照してください。

「Apple Remote Desktop」(ARD) またはほかの VNC ソフトウェアを使用する

「Apple Remote Desktop」(ARD) は、Mac OS X Server のインストール DVD を使って Xserve を起動すると使用できるようになるので、「Apple Remote Desktop」またはほかの VNC ビューアソフトウェアを実行する別のコンピュータからインストールを実行することができます。詳しくは、「Mac OS X Server: サーバ管理」(www.apple.com/jp/server/resources) を参照してください。

画面共有を使用する

Mac OS X または Mac OS X Server バージョン 10.5 がインストールされたリモートコンピュータを使って既知の IP アドレスの Xserve に接続している場合は、画面共有を使って Mac OS X Server をインストールできます。

画面共有を使ってインストールするには：

- 1 Mac OS X Server のインストール DVD を Xserve の光学式ドライブに挿入します。
- 2 前面パネルのコントロールを使って、光学式ドライブから Xserve を起動します。詳しくは、14 ページの「前面パネルから起動方法を選択する」を参照してください。

Xserve が光学式ドライブのディスクから起動し、ログインプロンプトが「ターミナル」のウインドウに表示されます。

- 3 リモートコンピュータで、「Finder」を開き、「移動」>「サーバへ接続」と選択します。
- 4 「サーバアドレス」フィールドに以下の情報を入力して、「接続」をクリックします。

`vnc://ipaddress`

`ipaddress` は、Xserve の IP アドレスまたは DNS 名に置き換えます。

- 5 「名前」フィールドには何も入力しないでください。「パスワード」フィールドに、Xserve のシリアル番号の最初の 8 文字を入力します。「接続」をクリックします。
- 6 共有画面のウインドウで、インストールを続行します。

画面共有について詳しくは、「Mac ヘルプ」を参照してください。

別の Xserve を使用して、交換したドライブモジュールにインストールする

これはソフトウェアをインストールまたは復元する簡単な方法ですが、キーボードとディスプレイが接続された 2 台目の Xserve が必要になります。この方法では、起動ドライブを別の Xserve に移動し、その 2 台目のシステムを使ってソフトウェアをインストールしてから、ドライブを元の Xserve に戻します。

重要：元の Xserve は、Mac OS X Server をインストールする Xserve と同じハード・ドライブ構成を持つ同一のモデルである必要があります。

2 台目の Xserve からインストールするには：

- 1 1 台目の Xserve (ソフトウェアをインストールしたい Xserve) をシステム終了し、そのドライブモジュールを取り外します。
- 2 2 台目の Xserve (ソフトウェアのインストールに使用する Xserve) で、ドライブモジュールの 1 つをマウント解除して取り外すか、空のモジュールを取り外し、1 台目の Xserve のドライブモジュールを挿入します。
2 台目の Xserve の起動ドライブモジュールは取り外さないでください。
- 3 **Mac OS X Server のインストール DVD** を 2 台目の Xserve の光学式ドライブに挿入し、インストーラアイコンをダブルクリックします。
- 4 認証ウィンドウで、管理者のパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
2 台目の Xserve がインストールディスクから再起動します。
- 5 インストールが完了すると、サーバの設定用アプリケーションが表示されます。「ファイル」>「終了」と選択してこのアプリケーションを終了し、2 台目の Xserve を終了することを選択します。
- 6 Option キーを押しながら 2 台目の Xserve を再起動し、画面に表示されるアイコンから通常の起動ディスクを選択します。
参考：「システム環境設定」の「起動ディスク」パネルで、今後の再起動に使用する起動ディスクを設定します。
- 7 新しくソフトウェアがインストールされたドライブモジュールを 1 台目の Xserve に戻して再起動します。
2 台目の Xserve から取り外したドライブモジュールまたは空のモジュールを忘れずに元に戻してください。

シリアルポートを介してコマンドを使用して、光学式ドライブからインストールする

キーボードやディスプレイのない Xserve に Mac OS X Server をインストールする別の方法は、Xserve のシリアルポートと光学式ドライブを使用する方法です。

シリアルポートとコマンドラインを使ってインストールを行うには：

- 1 管理コンソールまたはターミナル・エミュレーション・ソフトウェアを実行するコンピュータを Xserve の背面にあるシリアルポートに接続します。
- 2 **Mac OS X Server のインストール DVD** を Xserve の光学式ドライブに挿入します。
- 3 前面パネルのコントロールを使って、光学式ドライブから Xserve を起動します。詳しくは、14 ページの「前面パネルから起動方法を選択する」を参照してください。
Xserve が光学式ドライブのディスクから起動し、ログインプロンプトがターミナルのウィンドウに表示されます。
- 4 Xserve のシリアル番号の最初の 8 文字で構成されるパスワードを使って、「root」ユーザとしてログインします。
- 5 必要に応じて、diskutil ツールを使って、Mac OS X Server をインストールする予定のドライブを消去、フォーマット、またはパーティション設定します。ヘルプを表示するには、パラメータを指定せずに次のコマンドを入力します：

```
$ diskutil
```

6 DVD の、インストールパッケージが格納されているディレクトリに切り替えます：

```
$ cd /System/Installation/Packages
```

7 installer ツールを実行して、Mac OS X Server メタパッケージを指定します：

```
$ installer -pkg ./OSInstall.mpkg -target /Volumes/volume -verboseR
```

ここで、**volume** は、ソフトウェアをインストールしたいボリュームの名前です。

トラブルシューティング

ここでは、Xserve を操作しているときに発生する可能性のある問題の解決策、および「Apple Xserve Diagnostics」を使って Xserve ハードウェアをテストする方法について説明します。

この付録では、Xserve の使用時に発生する可能性のある問題の解決策について説明します。また、Xserve ハードウェアのテストに使用できる「Apple Xserve Diagnostics」ソフトウェアの情報も記載しています。

解決策が見つからない場合

ここで問題の解決策が見つからない場合は、アップルのサポートの Web サイト (www.apple.com/jp/support)、Xserve のディスカッションフォーラム (discussions.info.apple.co.jp)、および Mac OS X Server のヘルプの最新情報のトピックを確認してください。

問題と解決策

Xserve が起動しない場合

Xserve に付属の **Mac OS X Server のインストール DVD** から起動してみてください。代わりの起動方法については、12 ページの第 2 章「Xserve を起動する」を参照してください。

電源障害後に Xserve が自動的に起動しない場合

「システム環境設定」の「起動ディスク」パネルから起動ディスクを選択します。「停電後に自動的に再起動」を有効にしても、明示的に起動ディスクを選択していない場合は、筐体がロックされていると Xserve が再起動しないことがあります。

Xserve が起動せず、16 個のシステム利用状況ランプがすべて継続的に点滅する場合
メモリ DIMM が不良です。

システム ID ランプが点滅している場合

Xserve が問題を検出しました。問題点を調べるには、Xserve またはリモート管理用のコンピュータで「サーバモニタ」アプリケーションを開きます。

RAID カードのバッテリーが完全に充電されていない場合

バッテリーは通常の充電中または調整中である可能性があります。バッテリーについては、「RAID ユーティリティユーザーズガイド」(www.apple.com/jp/xserve/resources.html)、または「RAID ユーティリティ」のヘルプを参照してください。

接続されたディスプレイに画像が表示されないか、画面操作ができなくなる場合

筐体がロックされていないことを確認してください。実行中の Xserve にディスプレイを接続すると、ディスプレイの画像が乱れたり、表示されないことがあります。この場合は、Xserve を再起動します。または、リモートコンピュータを使ってディスプレイの画像を調整することもできます。Xserve に接続して「システム環境設定」を開き、「ディスプレイ」パネルを開いて、「ディスプレイを検出」をクリックします。

カバーを取り外せない場合

筐体キーを使って、前面パネルの筐体のロックが解除されていることを確認します。

電源装置を取り付けられない場合

ハンドルが引かれて開いていることを確認してから、ハンドルではなくファンケージを押して、装置を Xserve の一番奥までスライドさせます。次に、閉じたハンドルを押して、装置を所定の位置にロックします。

Xserve が周辺装置を認識しない場合

Xserve の前面パネルにある筐体ロックがロックされ、「システム環境設定」の「セキュリティ」パネルで筐体ロックの設定が有効になっていると、Xserve は、USB ポートと FireWire ポートに接続されているストレージ装置、キーボードとマウス、その他の周辺装置を無視します。ロックがかけられているときは、筐体ロックの横のランプが点灯します。

ドライブモジュールを取り外せない場合

筐体キーを使って、前面パネルの筐体のロックが解除されていることを確認します。

Xserve がロックされているときに Xserve がドライブモジュールを認識しない場合

Xserve がロックされ、システムの電源が入る前にドライブモジュールのハンドルが開いたままになっていた場合、ドライブモジュールが認識されないことがあります。この場合は、筐体のロックを解除し、ドライブモジュールを取り外してもう一度取り付けてから、ドライブモジュールのハンドルを閉じます。それでもドライブモジュールが認識されない場合は、Xserve を再起動します。

ドライブモジュールのランプが黄色または赤色に点灯する場合

ドライブモジュールの上の LED が黄色または赤色になっている場合は、ドライブに問題があります。可能であれば、ドライブを交換します。ドライブの状態については、「サーバモニタ」アプリケーションで確認してください。

ネットワークに Xserve が表示されるがアクセスできない場合

Xserve が非公開ネットワーク上にあり、管理用コンピュータがその非公開ネットワークと別のネットワーク上の両方に存在する場合、169.254.x.x のアドレスに接続しようとする、管理用コンピュータはデフォルトで非公開ではない別のネットワークに接続します。この問題を解決するには、管理用コンピュータに 169.254.x.x のアドレスを設定して、169.254（非公開）ネットワークへのルートを作成します。

ハードディスクが消去されているか、Xserve ソフトウェアが破損している場合

Mac OS X Server ソフトウェアを再インストールします。インストール方法については、23 ページの第 4 章「Xserve のソフトウェアをアップデートする／インストールする」を参照してください。

「サーバモニタ」を使って Xserve を制御できない場合

Xserve の LOM (Lights-out Management) ポートのアドレスを使用していることを確認します。「サーバモニタ」を使ってリモートの Xserve に接続するには、Xserve の LOM (Lights-out Management) ポートの管理者ユーザ名、パスワード、および DNS 名または IP アドレスを使用します。サーバの LOM (Lights-out Management) 設定を確認するには、サーバの「サーバモニタ」を開いて、「サーバ」>「ローカルコンピュータを構成」と選択します。「システム環境設定」の「ネットワーク」パネルで指定した、サーバの Ethernet 1 ポートまたは Ethernet 2 ポートの IP アドレスを使って接続することはできません。

「Apple Xserve Diagnostics」ソフトウェアを使用する

Xserve には、Xserve ハードウェアのテストに使用できる「Apple Xserve Diagnostics」ソフトウェアが付属しています。詳しくは、「Admin Tools」ディスクの「Documentation」フォルダに収録されている「Apple Xserve Diagnostics ユーザーガイド」を参照してください。

通信情報機器に関する規制

FCC Compliance Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class A digital device pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the manufacturer's instruction manual, may cause harmful interference with radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case you will be required to correct the interference at your own expense.

Shielded Cable Statement & Modification Statement

This product was tested for EMC compliance under conditions that included the use of Apple peripheral devices and Apple shielded cables and connectors between system components. It is important that you use Apple peripheral devices and shielded cables and connectors between system components to reduce the possibility of causing interference to radios, television sets, and other electronic devices. You can obtain Apple peripheral devices and the proper shielded cables and connectors through an Apple-authorized dealer. For non-Apple peripheral devices, contact the manufacturer or dealer for assistance.

Important: Important Changes or modifications to this product not authorized by Apple Inc. could void the EMC compliance and negate your authority to operate the product.

Industry Canada Statement

Complies with the Canadian ICES-003 Class A specifications. Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

VCCI クラス A 基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

Europe-EU Declaration of Conformity

See www.apple.com/euro/compliance.

CISPR 22 & EN55022 Statement

WARNING: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference, in which case the user may be required to take adequate measures.

Taiwan Class A Warning

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

Korea Class A Warning

A급 기기(업무용 방송통신기기)

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

China Class A Warning

声明

此为A级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰，在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

Laser Information

WARNING: Making adjustments or performing procedures other than those specified in your equipment's manual may result in hazardous radiation exposure.

Do not attempt to disassemble the cabinet containing the laser. The laser beam used in this product is harmful to the eyes. The use of optical instruments, such as magnifying lenses, with this product increases the potential hazard to your eyes. For your safety, have this equipment serviced only by an Apple-authorized service provider.

If you have an internal Apple CD-ROM, DVD-ROM, or DVD-RAM drive in your computer, your computer is a Class 1 laser product. The Class 1 label, located in a user-accessible area, indicates that the drive meets minimum safety requirements. A service warning label is located in a service-accessible area. The labels on your product may differ slightly from the ones shown here.



危険性の高い行為に関する警告

このコンピュータシステムは、原子力施設・飛行機の航行や通信システム・航空管制システムなど、コンピュータシステムの障害が生命の危険や身体への障害、あるいは重大な環境破壊につながるようなシステムにおける使用を目的としていません。

中国

有毒或 有害物质	零部件			
	电路板	硬盘 驱动器	电池组	附件
铅 (Pb)	X	X	X	X
汞 (Hg)	○	○	○	○
镉 (Cd)	○	○	○	○
六价铬 (Cr, VI)	○	○	○	○
多溴联苯 (PBB)	○	○	○	○
多溴二苯醚 (PBDE)	○	○	○	○

O: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。

X: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。

根据中国电子行业标准 SJ/T11364-2006 和相关的中国政府法规，本产品及其某些内部或外部组件上可能带有环保使用期限标识。取决于组件和组件制造商，产品及其组件上的使用期限标识可能有所不同。组件上的使用期限标识优先于产品上任何与之相冲突的或不同的环保使用期限标识。

処分とリサイクルに関する情報



この記号は、お住まいの地域の法規制に従ってこの製品を適切に処分する必要があることを示します。使用済みの製品を処分するときは、アップルまたは地方自治体にリサイクルオプションについてお問い合わせください。

アップルのリサイクルプログラムについては、次の Web サイトを参照してください：

www.apple.com/jp/environment/recycling

バッテリーの処分に関する情報

内部バッテリーを交換するときは、お住まいの地域の規制に従って使用済みのバッテリーを処分してください。

Nederlands: Gebruikte batterijen kunnen worden ingeleverd bij de chemokar of in een speciale batterijcontainer voor klein chemisch afval (kca) worden gedeponeerd.



Deutschland: Das Gerät enthält Batterien. Diese gehören nicht in den Hausmüll. Sie können verbrauchte Batterien beim Handel oder bei den Kommunen unentgeltlich abgeben. Um Kurzschlüsse zu vermeiden, kleben Sie die Pole der Batterien vorsorglich mit einem Klebestreifen ab.

Taiwan:



廢電池請回收



European Union—Disposal Information:

The symbol above means that according to local laws and regulations your product should be disposed of separately from household waste. When this product reaches its end of life, take it to a collection point designated by local authorities. Some collection points accept products for free. The separate collection and recycling of your product at the time of disposal will help conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment.

Union Européenne: informations sur l'élimination

Le symbole ci-dessus signifie que vous devez vous débarrasser de votre produit sans le mélanger avec les ordures ménagères, selon les normes et la législation de votre pays. Lorsque ce produit n'est plus utilisable, portez-le dans un centre de traitement des déchets agréé par les autorités locales. Certains centres acceptent les produits gratuitement. Le

traitement et le recyclage séparé de votre produit lors de son élimination aideront à préserver les ressources naturelles et à protéger l'environnement et la santé des êtres humains.



Europäische Union – Informationen zur Entsorgung

Das Symbol oben bedeutet, dass dieses Produkt entsprechend den geltenden gesetzlichen Vorschriften und getrennt vom Hausmüll entsorgt werden muss. Geben Sie dieses Produkt zur Entsorgung bei einer offiziellen Sammelstelle ab. Bei einigen Sammelstellen können Produkte zur Entsorgung unentgeltlich abgegeben werden. Durch das separate Sammeln und Recycling werden die natürlichen Ressourcen geschont und es ist sichergestellt, dass beim Recycling des Produkts alle Bestimmungen zum Schutz von Gesundheit und Umwelt beachtet werden.

Unione Europea: informazioni per lo smaltimento

Il simbolo qui sopra significa che, in base alle leggi e alle norme locali, il prodotto dovrebbe essere smaltito separatamente dai rifiuti casalinghi. Quando il prodotto diventa inutilizzabile, portalo nel punto di raccolta stabilito dalle autorità locali. Alcuni punti di raccolta accettano i prodotti gratuitamente. La raccolta separata e il riciclaggio del prodotto al momento dello smaltimento aiutano a conservare le risorse naturali e assicurano che venga riciclato nel rispetto della salute umana e dell'ambiente.

Europeiska unionen – uttjänta produkter

Symbolen ovan betyder att produkten enligt lokala lagar och bestämmelser inte får kastas tillsammans med hushållsavfallet. När produkten har tjänat ut måste den tas till en återvinningsstation som utsetts av lokala myndigheter. Vissa återvinningsstationer tar kostnadsfritt hand om uttjänta produkter. Genom att låta den uttjänta produkten tas om hand för återvinning hjälper du till att spara naturresurser och skydda hälsa och miljö.

アップルと環境について

アップルでは、製品が環境に与える影響をできる限り小さくするよう取り組んでいます。

詳しくは、次の Web サイトを参照してください：
www.apple.com/jp/environment